

三島英雄

14期生一平成28年度卒一
中華人民共和国 吉林大学 文学院



Life-changing Learnings

人生を変えた、学びの記憶。

「絶対に諦めなかった」のではなく、
「絶対に諦めさせてもらえなかった」ことに感謝。

どんなに辛くても、諦めさせて
くれない仲間がいたから頑張れた。

吉林大学に進学したときは、とにかく不安で
いっぱいでした。というのも、周りの学生は皆
とても優秀だったからです。

日本を離れ、中国の地であった一人「授業に
ついていけなかったらどうしよう」、「みんなと
仲良くなるだろうか」、「そもそも僕は、卒業
できるのかどうか」と不安でいっぱいの日々を
過ごしたことは、今となってはいい思い出です。
……なんて言うとても真面目そうに聞こえ
るのですが、授業は思った通り（もしくは、それ
以上に）難しく、どの科目も必死になって食ら
いついていこうとしました。

あまりの辛さに、何度も諦めようと思ったこ
とがありました。僕が弱気になるたびに、励ま
してくれた仲間がいたからこそ、学ぶことを諦
めずに歩いてこられたと思っています。

目標は「日本と中国の架け橋」

たくさんの方の留学生との交流を通し、様々な国
の文化を学んだ経験は、私にとって貴重な財産
となりました。あたたかな仲間たちにも恵まれ
本当に充実した留学生生活を過ごすことができました。

今は卒業論文で精一杯の毎日ですが、ここが
最後の踏ん張りどころ。卒業後は、日本と中国
の懸け橋となるような仕事に携わりたいと思っ

| 吉林大学と三島くんについて |

吉林大学は中華人民共和国教育部直属の国家重点大学。北京大学や清華大学と並び、多くの政治家の出身校として知られています。
三島君はお母様が中国人であるため、日常の中国語会話程度は堪能でしたが、本校卒業後さらに勉強を重ねて吉林大学に進学しました。（※中国は9月入学のため、日本での高校卒業から中国での大学入学まで数ヶ月間が空きます）
三島くんは現在、文学院 中国語文学部に在学し日々研究に励んでいます。

科学技術高等学校卒業後、中国の吉林大学へ。異国の地で不安と劣等感に苛まれ、何度も学びの道を諦めかけた三島は「絶対に諦めさせてくれない仲間」に救われる。目標は、日本と中国の架け橋になること。

